

発行者：国土交通省 東北地方整備局 能代河川国道事務所 森吉山ダム管理支所
〒018-4512 秋田県北秋田市根森田字姫ヶ岱31 TEL:0186-60-7231 FAX:0186-60-7232
http://www.thr.mlit.go.jp/noshiro/

森吉山ダム管理支所のお仕事紹介 ～浸透流量観測～

森吉山ダム 浸透流量観測コース（例）

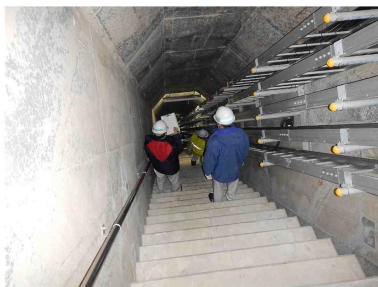


↑赤色のコースを約1時間半かけて歩きます

森吉山ダムでは週に1度、ダム堤体内の浸透流と漏水量の観測を行っています。

この日はダム右岸から監査廊に入り、浸透流の観測をしながらダム最深部を通り、左岸側まで行くコースでした。（←左図）

浸透流・漏水量を毎週観測することで、観測数値に誤差はないか、急激な変化はないかなどを確認し、基礎岩盤の安定状況を確認したり、ダムの安全性をチェックしています。



↑階段の途中でも観測します ↑手分けをして行います

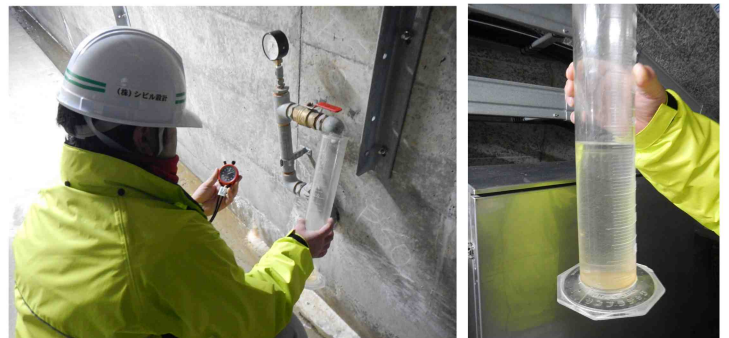
【浸透流・漏水量とは・・・】

観測を行っている浸透流とは、基礎岩盤を通ってくる、地下水のようなものを指します。

漏水量とはダム堤体を通り、浸水してきた水のことを指します。

【全27箇所を測定します】

森吉山ダムには浸透流観測設備が27箇所に設置されており、各箇所を測定を行います。測定にはメスシリンダーを使い、1分間の流量を確認します。濁ったり、急激に水量が増えればどこかに異常があるという事で、点検を行います。



↑ストップウォッチとメスシリンダーで計測する様子



↑漏水量観測設備（6箇所分）

↑三角堰から漏水が流れ出る様子

【漏水量観測設備とは・・・】

監査廊の最深部に設置されている漏水量観測設備では、三角堰が設置され漏水の流量・水温・濁度を測定しています。さらに、目視でも流量を確認します。

測定された水は、排水ポンプで外まで自動排水されるようになっています。